



2027年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年7月30日

上場会社名 野崎印刷紙業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7919 URL <https://www.nozakiinsatu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 隆男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 内藤 孝憲

TEL 075-441-6965

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,658	2.5	238	71.5	247	61.0	184	120.8
2026年3月期第1四半期	3,568	1.6	139	20.3	153	19.7	83	32.8

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 229百万円 (137.4%) 2026年3月期第1四半期 96百万円 (22.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	11.45	—
2026年3月期第1四半期	5.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	11,035	5,011	43.2	295.38
2026年3月期	10,617	4,865	43.5	286.22

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 4,768百万円 2026年3月期 4,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	2.50	—	5.00	7.50
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	2.70	—	5.00	7.70

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,650	4.5	726	40.6	756	32.5	609	69.6	37.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	21,460,000 株	2026年3月期	21,460,000 株
期末自己株式数	5,317,415 株	2026年3月期	5,317,355 株
期中平均株式数 (四半期累計)	16,142,600 株	2026年3月期1Q	16,321,797 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が見られたもののインフレによる実質賃金の伸び悩みで景気は穏やかな回復基調となりました。一方で、ロシア・ウクライナ問題の長期化や中東地域での紛争を背景とした地政学リスクの高まりや円安基調の為替の影響によるエネルギー、原油由来の原材料価格が大幅に上昇いたしました。また、金融政策の正常化に伴う金利動向など先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループは、中期経営計画の最終年度を迎え、3つの意味を持たせたSHINKA（進化、深化、伸化）による主力商品（包装資材及び紙器・紙工品や情報機器及びサプライ品部門）の売上成長、設備投資による競争優位性や生産効率の改善、人的資本の強化、資本効率の向上と資産効率の最適化により企業価値の向上を進めております。

このような状況のなか、一部原材料の入荷遅れや納入量の調整などもございましたが、主力商品を中心とした販売強化や設備の増強などの効果により、売上高は好調に推移いたしました。利益につきましては、用紙・フィルムやインキをはじめとする主要原材料価格や物価上昇、人材確保を目的とした人件費、物流費の上昇が見られましたが、新たに導入した設備の稼働率が向上したことや前期に実施した大型修繕工事が完了したことによる製造原価の減少に伴う売上総利益の改善に加え、自助努力のみでは吸収しきれない原材料価格等の上昇分について、適切な価格改定を進めたことなどにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに増加いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は36億58百万円（前年同期比2.5%増）となり、営業利益は2億38百万円（前年同期比71.5%増）、経常利益は2億47百万円（前年同期比61.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億84百万円（前年同期比120.8%増）となりました。

なお、当社グループは印刷事業セグメントのみであるため、事業部門別の売上概況を示せば、次のとおりであります。また、利益については管理上、部門別には把握しておりません。

①商業印刷部門

当部門のカタログ・パンフレット類の商業印刷は、隔年で製作を行うカタログの受注があったものの、官公庁向けの受注が減少したことや建築関連業界向け見本帳の製作部数の減少、製作サイクルの長期化などの影響により、この部門全体の売上高は2億円（前年同期比11.6%減）となりました。

②包装資材及び紙器、紙工品部門

当部門の包装紙・紙袋類は、百貨店等流通業界・小売業界などのギフト関連需要が低調に推移しました。伝票類は、物流関連の受注増加が寄与したことなどにより増加しました。紙器は、化粧品や食品業界向け、工業製品向け等の受注が堅調に推移したことなどにより、この部門全体の売上高は21億58百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

③情報機器及びサプライ品部門

当部門のタグ・ラベルは、物流業界向けラベルが減少したことに加え、EC向けデータプリント事業の同業他社との価格競争の影響により受注金額は減少したものの、輸送機器業界向け、食品業界向けの需要が堅調に推移したことなどにより増加しました。情報機器類におきましては、医療機器向けの受注が増加したものの、小型・中型機のリプレイスが一段落したことや昨年に受注したカスタマイズ機の補填までには至らず、この部門全体の売上高は11億55百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

④その他の部門

当部門の化成品は、物流関係向けのチケットパックの需要が増加したものの、感染症対策の衛生関連商品の受注が減少したことなどにより、この部門全体の売上高は1億42百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億17百万円増加の110億35百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3億71百万円増加の49億23百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ46百万円増加の61億12百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億71百万円増加の60億23百万円となりました。これは長期借入金が1億60百万円、賞与引当金が1億35百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が1億99百万円、短期借入金が92百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億46百万円増加の50億11百万円となりました。

これらの結果、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末に比べ9円16銭増加の295円38銭となり、自己資本比率は43.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の通期業績予想につきましては、本日(2026年7月30日)公表いたしました「2027年3月期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,398,679	1,458,147
受取手形及び売掛金	1,851,410	1,934,231
電子記録債権	239,856	311,828
商品及び製品	653,705	685,202
仕掛品	166,504	218,096
原材料	192,166	230,082
その他	50,755	87,212
貸倒引当金	△812	△1,451
流動資産合計	4,552,266	4,923,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,403,941	1,397,601
機械装置及び運搬具（純額）	2,121,865	2,047,303
土地	1,603,413	1,603,413
建設仮勘定	188,669	241,716
その他（純額）	156,468	183,569
有形固定資産合計	5,474,358	5,473,605
無形固定資産	26,454	24,593
投資その他の資産		
投資有価証券	328,902	393,597
その他	235,869	220,210
投資その他の資産合計	564,771	613,808
固定資産合計	6,065,584	6,112,007
資産合計	10,617,851	11,035,356

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	790,884	990,563
電子記録債務	1,023,817	1,072,914
短期借入金	1,813,500	1,906,000
未払法人税等	67,470	59,467
賞与引当金	214,853	78,976
その他	376,121	558,759
流動負債合計	4,286,646	4,666,681
固定負債		
長期借入金	1,307,500	1,147,500
退職給付に係る負債	10,864	11,540
その他	147,600	198,257
固定負債合計	1,465,965	1,357,297
負債合計	5,752,612	6,023,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,570,846	1,570,846
資本剰余金	822,766	822,766
利益剰余金	3,240,373	3,344,545
自己株式	△1,132,495	△1,132,508
株主資本合計	4,501,490	4,605,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118,980	162,672
その他の包括利益累計額合計	118,980	162,672
非支配株主持分	244,768	243,054
純資産合計	4,865,238	5,011,377
負債純資産合計	10,617,851	11,035,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,568,683	3,658,027
売上原価	2,864,340	2,835,308
売上総利益	704,343	822,718
販売費及び一般管理費	565,292	584,134
営業利益	139,050	238,583
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,232	2,586
不動産賃貸料	15,745	15,678
その他	2,232	2,392
営業外収益合計	20,209	20,656
営業外費用		
支払利息	4,178	9,306
手形売却損	748	418
その他	438	1,623
営業外費用合計	5,365	11,348
経常利益	153,894	247,892
特別利益		
固定資産売却益	4,376	—
投資有価証券売却益	501	—
収用補償金	—	37,644
特別利益合計	4,877	37,644
特別損失		
固定資産処分損	5,913	4,175
特別損失合計	5,913	4,175
税金等調整前四半期純利益	152,859	281,360
法人税、住民税及び事業税	21,960	48,181
法人税等調整額	41,081	47,176
法人税等合計	63,042	95,358
四半期純利益	89,816	186,002
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,118	1,116
親会社株主に帰属する四半期純利益	83,697	184,885

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	89,816	186,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,933	43,691
その他の包括利益合計	6,933	43,691
四半期包括利益	96,750	229,693
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,631	228,577
非支配株主に係る四半期包括利益	6,118	1,116

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	160,229千円	153,211千円

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、印刷事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。